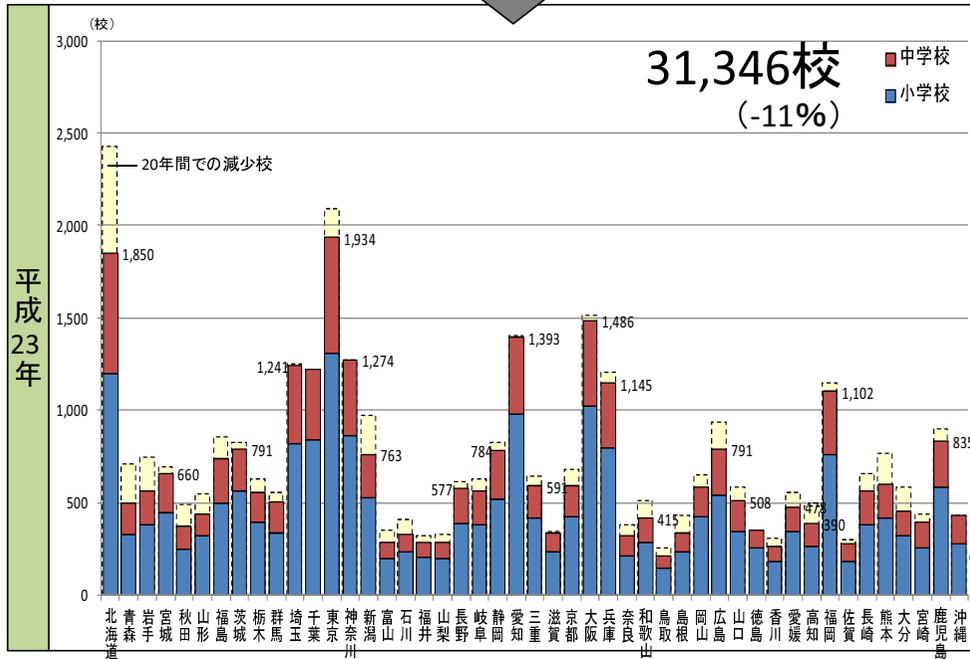
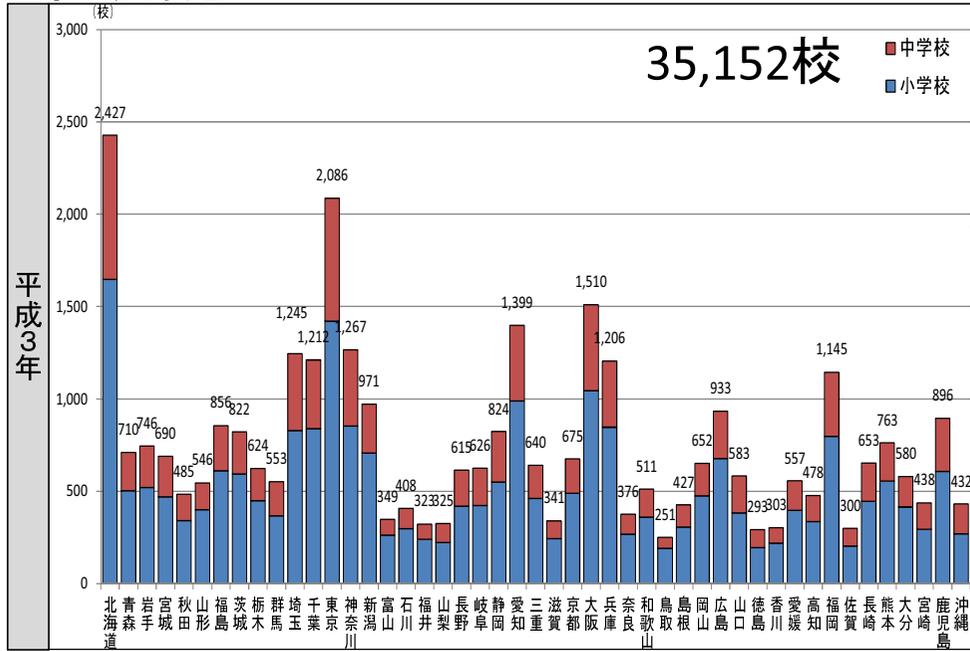


# 学校施設の有効活用

## <学校数の変化>



将来予測

今後も減少が予測されている。

## <学校施設(小・中学校)の老朽化対策に対しての方向>



- 1. 学校施設の維持・更新時期の見直し**
  - ・長寿命化の検討(50年を70年又は80年)
  - ・中規模修繕による延命化
- 2. 空きスペース等の有効活用**
  - ・多目的に活用していく
  - ・地域の状況に応じた共用化の実現  
(図書館・コミュニティー機能・高齢化対応・未就学児機能等)
- 3. サービスレベルの維持向上とコスト削減の実現**
  - ・柔軟な維持管理(施設の維持管理を切り離す)
  - ・1つの学校で完結するのではなく、複数の学校での機能の複合化  
(プール・給食等)
- 4. 早急な老朽化対策**
  - ・建替えだけでなく大規模改修との併用
  - ・民間資金の活用(災害時の機能強化・環境向上・省エネ化等)
- 5. 改修技術の向上**
  - ・大規模改修技術の向上及び改修工期の短縮技術(コンバージョン)
  - ・既存建物の実態把握技術(劣化状況診断を含む)の向上に向けてのマニュアル化
  - ・環境向上・省エネ化・災害時対応を含めた建替・改修の設備水準の設定(予算と連動した)
  - ・総合的視点に基づく保全計画の策定  
(公共施設マネジメントとの連携)